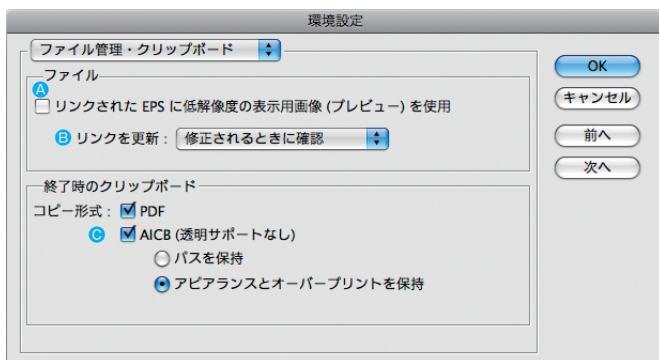
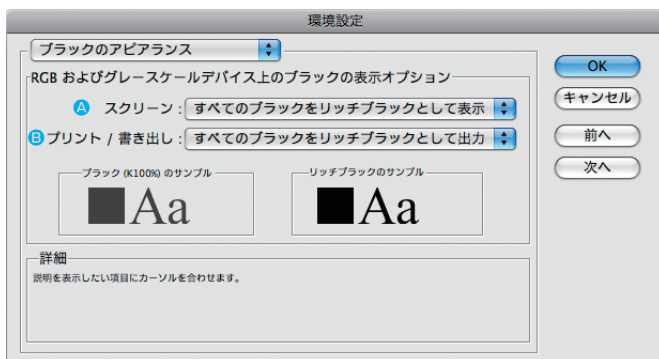


ファイル管理・クリップボード



- A プレビューの速度は上がりますが、画質は悪くなります。
- B リンク元の画像を更新したとき、リンクした画像を自動更新するか、手動更新するか設定します。
- C Illustrator からコピー & ペーストするときの互換性を設定します。AICB は透明をサポートしないので、[パスを保持] でパス形状を優先するか、[アピアランスとオーバープリントを保持] で分割・統合するか設定します。

ブラックのアピアランス



- A [すべてのブラックを正確に表示] にすると、K100 とリッチブラックの差が画面で確認できます。[すべてのブラックをリッチブラックとして表示] は、K100 もリッチブラックで表示します。
- B [すべてのブラックを正確に出力] にすると、K100 とリッチブラックの差がプリントで確認できます。[すべてのブラックをリッチブラックとして出力] は、K100 もリッチブラックでプリントします。

01-10

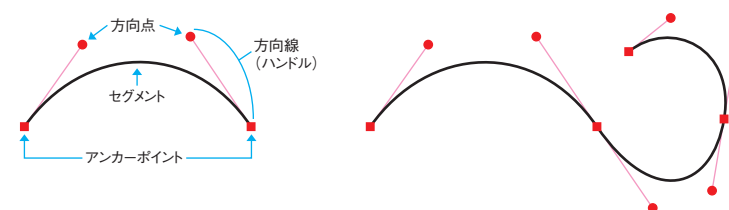
ベジェ曲線の基本

CS
CS2
CS3
CS4
CS5

Illustrator では、ベジェ曲線と呼ばれる定義方法で線を描画します。

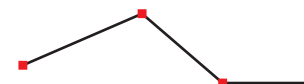
ベジェ曲線

ベジェ曲線は、4つの制御点（2つのアンカーポイントと2つの方向点）で線の形を定義します。4つの制御点だけで定義できない複雑な線は、さらに4つの制御点を追加して、線と線をつなぎます。この、4つの制御点だけで定義できる線をセグメントと呼び、セグメントには「直線セグメント」と「曲線セグメント」があります。



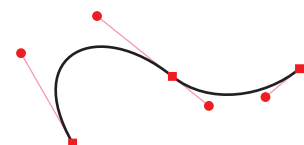
直線セグメント

直線は、方向点の無い（またはアンカーポイントと同じ位置にあると考える）アンカーポイント同士をつないだセグメントです。直線を描くときは、2つのアンカーポイント位置を設定するだけで、方向線の位置は設定しません。



曲線セグメント

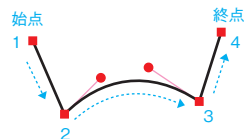
曲線は、アンカーポイントと方向点の距離と角度が広がるほど、勾配が強くなります。曲線を描くときは、アンカーポイントから方向点までドラッグして、方向線（ハンドル）を伸ばしながら距離と角度を設定します。



パス

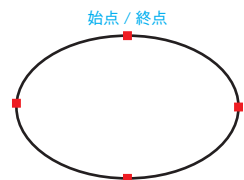
ベジェ曲線で描いた線のことを「パス」と呼びます。パスには方向があり、最初に設定したアンカーポイントが始点、最後に設定したアンカーポイントが終点になります。パスの方向は、方向線を伸ばす方向、矢印、ブラシのデザインなどに影響します。

また、パスには「クローズパス」と「オープンパス」があります。



クローズパス

クローズパスは、すべてのセグメントを連結した線です。始点と終点と同じアンカーポイントになります。



オープンパス

オープンパスは、始点と終点が連結していない線です。



01-11

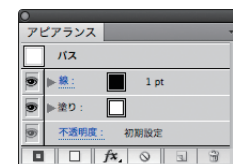
アピアランスの基本

CS CS2
CS3 CS4 CS5

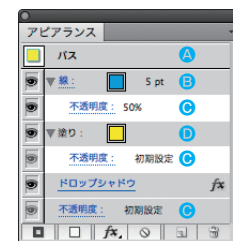
アピアランスとは、塗り、線、不透明度、効果といった、オブジェクトの外観に作用する属性の総称です。

アピアランス属性

初期設定のアピアランス属性は「線：1pt ブラック」「塗り：ホワイト」なので、パスを描くと、このようなイメージになります。



ですが、各種パネルやコマンドを使ってアピアランス属性を変更すると、このようなイメージになります。



A 線

線の形状は [線]、[ブラシ] パネル、線の色は [カラー] パネルを使って設定します。

B 塗り

[カラー]、[スウォッチ]、[グラデーション] パネルを使って、パスの内側を塗りつぶします。

C 不透明度

[透明] パネルで透明な質感を設定します。背面に何かイメージが無いと、透明効果は表れません。「初期設定」の表示は、「描画モード：通常」「不透明度：100%」です。一番下にある不透明度は、オブジェクト全体に対する設定です。「線」と「塗り」を分けた設定もできます（@@ページ参照）。

D 効果

[効果] メニューのコマンドで、Photoshop のフィルターや特殊な加工を適用します。fx のアイコンをダブルクリックすると、効果オプションダイアログボックスが開きます。

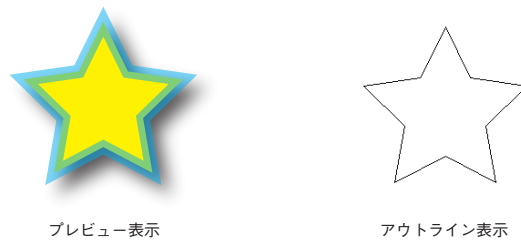
アピアランスの重なり

アピアランス属性には重なり順があり、[アピアランス] パネルの下にある属性から順番にプレビューします。順番を変えるときは、[アピアランス] パネル内でアピアランス属性を上下にドラッグします。



アウトライン表示とプレビュー表示

[表示] メニュー→[アウトライン] ((command)+Y) (Ctrl+Y) を選択すると、オブジェクトにアピアランスを適用しない状態で表示します。アピアランスを適用した表示に戻るときは、[表示] メニュー→[プレビュー] ((command)+Y) (Ctrl+Y) を選択します。



01-12

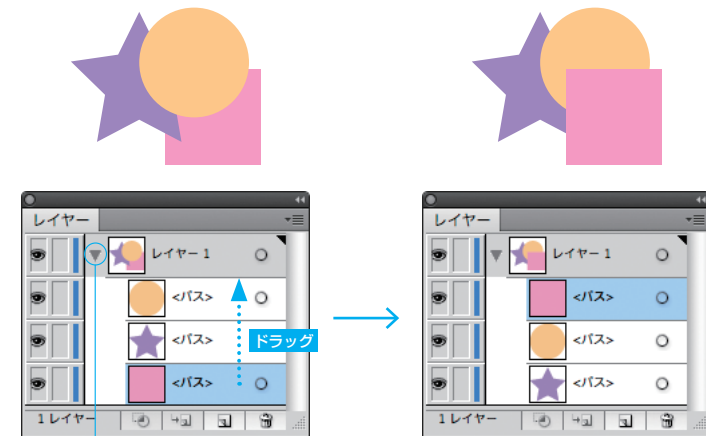
レイヤーの基本

CS
CS2
CS3
CS4
CS5

レイヤーパネルでドキュメント内にあるすべてのオブジェクトを管理します。

オブジェクトの重なり

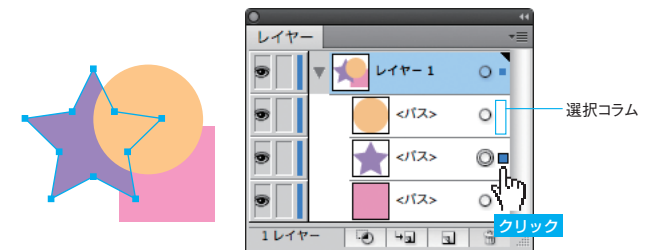
オブジェクトは作成した順番で上に重ねられ、[レイヤー] パネルの下から順番に表示します。順番を変えるときは、[レイヤー] パネル内で項目を上下にドラッグします。



ここをクリックして、レイヤーの内容を表示します。

オブジェクトの選択




項目の右端の選択コラム(少し空いてるスペース)をクリックして、オブジェクトを選択します。



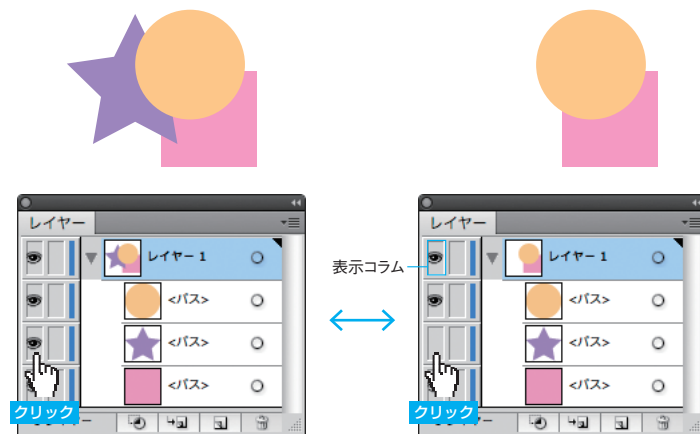
01章

基本知識



オブジェクトの表示・非表示

表示コラムが目アイコンの項目を表示して、空白の項目を非表示にします。レイヤーの表示コラムを空白にすると、レイヤー内のすべてのオブジェクトが非表示になります。

オブジェクトを削除する前に、オブジェクトが無いイメージを確認できます。非表示の項目はプリントしません。

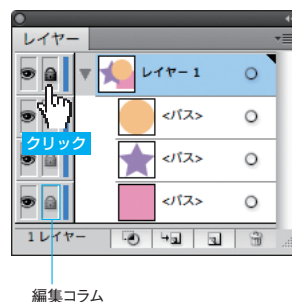
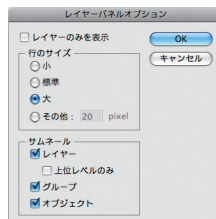


オブジェクトのロック

編集コラムが鍵アイコンの項目はロック状態で編集できません。空白の項目は選択して編集できます。レイヤーの表示コラムを鍵アイコンにすると、レイヤー内のすべてのオブジェクトがロック状態になります。

POINT

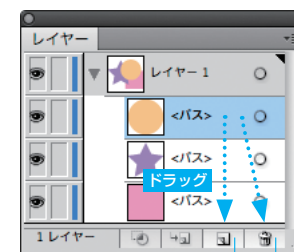
【レイヤー】パネルメニューの【パネルオプション】で、レイヤーに表示するサムの設定ができます。



編集コラム

オブジェクトの削除・複製

【レイヤー】パネルの項目を選択して、【選択項目を削除】ボタンにドラッグすると、項目を削除します。【新規レイヤーを作成】ボタンにドラッグすると、項目を複製します。複製した項目は選択した項目の上に作成します。



新規レイヤーを作成

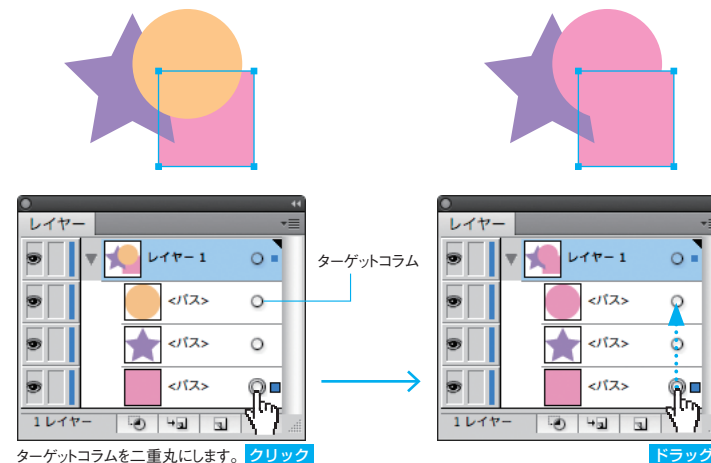
選択項目を削除

POINT

(Option) キー (⌘ Alt キー) を押しながら項目をドラッグすると、複製した項目が移動します。

アピアランスの移動

ターゲットコラムの二重丸アイコン (○または●) をドラッグして、ドラッグ先のターゲットコラムにアピアランス設定を適用します。



ターゲットコラムを二重丸にします。クリック

ドラッグ

POINT

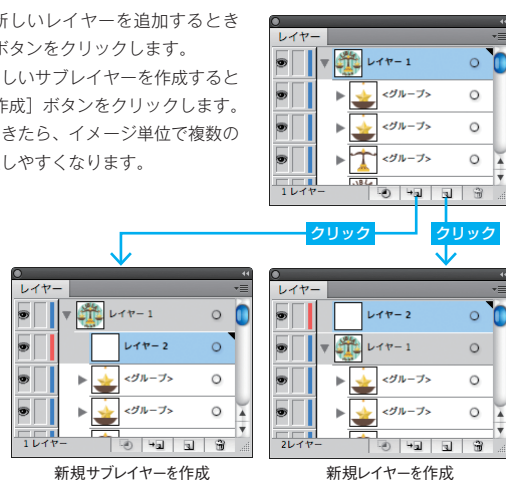
ひとつの塗りと線だけを設定したアピアランスは、白い二重丸のアイコン○で表示します。不透明度や効果などを適用したアピアランスは、立体的な二重丸のアイコン●で表示します。

新規レイヤーの作成

選択したレイヤーの上に新しいレイヤーを追加するときは、[新規レイヤーを作成] ボタンをクリックします。

選択したレイヤーの下に新しいサブレイヤーを作成するときは、[新規サブレイヤーを作成] ボタンをクリックします。

オブジェクトの数が増えてきたら、イメージ単位で複数のレイヤーに振り分けると管理しやすくなります。

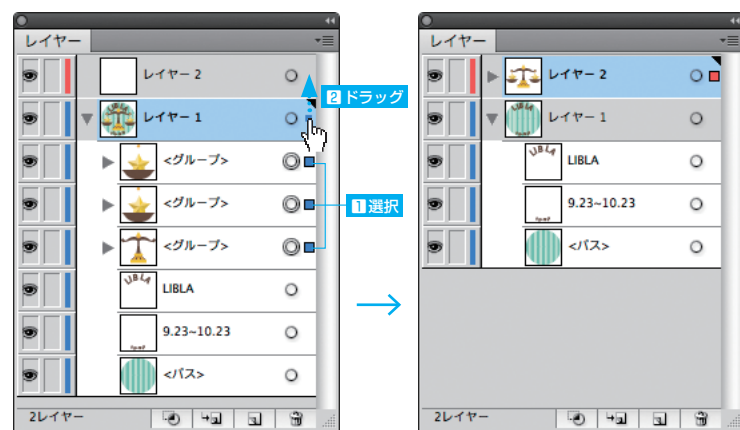


新規サブレイヤーを作成

新規レイヤーを作成

オブジェクトの別レイヤーへの移動

選択コラムのカラーボックスを移動先のレイヤーまでドラッグします。複数のオブジェクトを選択したときは、レイヤーのカラーボックスをドラッグします。



レイヤーの結合

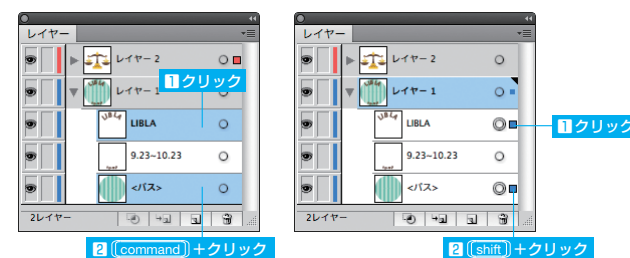
複数のレイヤーをひとつのレイヤーに統合するときは、統合するレイヤーを選択して、[レイヤー] パネルメニューから [選択レイヤーを結合] を選択します。

すべてのレイヤーを統合するときは、[レイヤー] パネルメニューから [すべてのレイヤーを結合] を選択します（レイヤーを選択する必要はありません）。

POINT

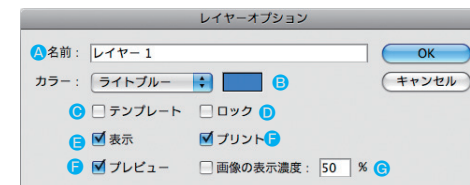
隣接していない複数のレイヤーや項目を選択するときは、[command] キー（[Ctrl] キー）を押しながら選択します。

選択コラムで隣接していないオブジェクトを選択するときは、[shift] キーを押しながら選択します。



レイヤーオプション

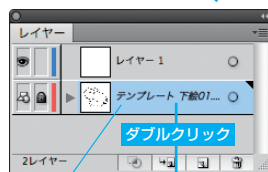
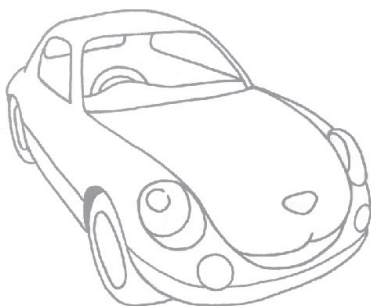
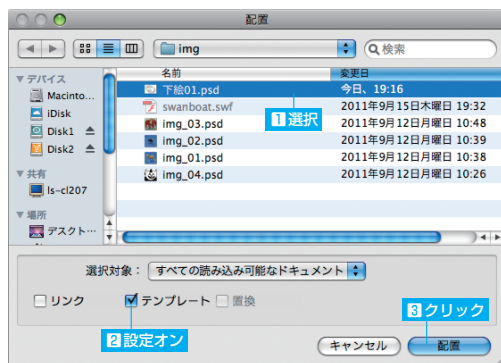
レイヤー名をダブルクリックするか、設定するレイヤーを選択して、[レイヤー] パネルメニューから [(レイヤー名) のオプション] を選択します。



- A レイヤーの名前を設定します。
- B オブジェクトを選択したときにハイライト表示する色を設定します。
- C トレースするときの下絵用のテンプレートレイヤーに設定します。
- D レイヤー内のオブジェクトをロックします。レイヤーの編集コラムと共通の設定です。
- E レイヤー内のオブジェクトを非表示にします。レイヤーの表示コラムと共通の設定です。
- F オフにすると、レイヤー内のオブジェクトをプリントしません。
- G オフにすると、レイヤー内のオブジェクトをアウトライン表示します。
- H トレースしやすくなるように、配置画像の表示濃度を調整します。

POINT

オートトレースではなく自分でトレースをするとき、[配置] コマンドの [テンプレート] オプションをオンにすると、下絵画像にトレーシングペーパーをのせたような状態になります。下絵の濃さを調整するときは、レイヤーオプションの [画像の表示濃度] を調整します。



トレースが終了したら、このレイヤーは削除します。

